

5月の言葉

会津バスケットボール協会 室井 富 仁

ゴールデンウィークと共にスタートした5月。「毎日が日曜日」の私には「シルバーウィーク」。毎朝新聞を取りに外へ出て朝陽を浴び、爽やかな空気と亡き父が植えたツツジの鮮やかな花に元気をもらおう。「心は現在なるを要す。過ぎたるは追うべからず、来たらざるは向かうべからず」。変化のない毎日であるが「日々新たなり」で新たな発見を楽しむ。

世の中が「米米クラブ」、二つの米で大騒ぎである。米国大統領の関税措置、米穀の値段がどうのこうの。毎日目を離せない。山本リンダ曰く「コメっちゃうな♪」。

1・読書から

◆「金持ちが起こして貧乏人がたたかう戦争だ」〈ミッチェル『風と共に去りぬ（上巻）』集英社〉：米国南北戦争時代を描いた壮大な長編小説である。昔も今も同じ原則である。戦争を決めた人間は安全な場所でのうのうとし、前線で命を落とすのは貧しい兵隊ばかり。

◆「戦争のために武器が要るのではなく、利潤を得るために武器を作るから戦争が必要になる」〈星野文彦著『人類の知的遺産・現代の自然科学者』講談社〉：ウクライナ、イスラエルでの戦争、紛争にものすごい数の武器、兵器が放映される。誰が儲けているのだろうか。

◆「カニは甲羅に似せて穴を掘る。人は自分の心のスケール以上の人生は作らない」〈鈴木進著『中村天風「勝ち癖のセオリー」』三笠書房〉：思考は現実化する。人は自分の思ったような人間にしかねない。スケールの大きい選手になりたければ目標を高く、大きな夢を。

2・新聞から

◆「HABIT（習慣）」〈朝日：スポーツ・Bリーグ宇都宮3度目のV〉：逆転優勝を果たした宇都宮選手の共通の合言葉。亡くなったヘッドコーチが練習中繰り返して説いていた言葉だという。バスケットは「ハビットゲーム」。繰り返し、繰り返し練習して習慣化、自動化したものでなければ試合では通用しない。

◆「やり直しの連続こそ人生。今日も失敗を悔いている。挽回を決意した瞬間を、幕開けだと思って進みたい」〈朝日：文化・後藤正文の朝からロック〉：仕切り直しをして「ようしやるぞ!」と思った日が新しい自分のバースデー。バスケットで一生かけて成長したい。

◆「見ることができないものには、なることができない」〈朝日：折々のことば・ハトラー・トーマスドットイル〉：「世界で最もジェンダー平等に近い国」アイスランドの女性大統領の言葉。1975年「女性の休日」ストライキを行った先達の後ろ姿を見て来たという。私も高校時代一学年上の先輩の後ろ姿を追いかけて、追い抜こうと頑張っている。

◆「9回失敗しないと、なかなか1回の成功が手に入りません。ですから恐れることなく、思い切って挑戦し、たくさん失敗してください」〈朝日：序破急・山中伸弥〉：iPS細胞でノーベル賞を受賞した山中教授が四半世紀前に大学生に語った言葉である。わが孫娘も失敗を恐れてなかなか1：1の攻撃ができないでいる。「失敗は成功のもと」は不滅の格言だ。